

第1学期終業式 校長挨拶

R2.8.7

皆さんこんにちは。

まず最初に、新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨でお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りして、1分間の黙禱を捧げたいと思います。座ったままでいいです。黙禱しましょう。

さて、先日の豪雨では学校も2日間臨時休校しました。そして、2時間の遅延登校もありました。

小国地区は、特に杖立方面で甚大な被害が出ました。友だちの中にも被災して苦勞している人もいます。今回被害に遭われた生徒の皆さんとそのご家族の方々には改めまして心よりお見舞い申し上げます。

今年は例年とは違うことが多くて、皆さんも戸惑ったことが多かったと思います。8月7日が終業式というのも、38年間学校に勤めています。おまけに校長先生自身の小・中・高・大学時代を含めると54年間で初めてです。

また、新型コロナウイルス感染症への対応では、たくさんの方がいろんな葛藤を覚えたことだろうと思います。分かりやすく言いますね。

いつも、当たり前のようにしていた行為が、突然「だめだ！」と言われたことはありませんか？

校長先生も買い物に行った時に、思わずマスク無しで店に入ろうとします。おっ！と思いだして、車まで帰ってマスクを着用したことが何度もあります。

久しぶりに会った友だちに、「よお、久しぶり」と言って握手しようとした手を思わず引っ込めて互いに苦笑いしたこともあります。

なんだか、心の距離が遠くなったような気がして、寂しい思いもありますが、収束するまでは頑張ってみようと思っています。皆さんも、新しい生活様式に慣れて、十分気をつけましょう。

8月8日から8月18日までの11日間の夏休みです。本当なら、その4倍くらいの長さの夏休みになりますが、短いですが、短いからこそ、できることがあります。たった11日間ですから、毎日規則正しく生活し、目標を定めて生活すれば、とても有意義な生活ができます。

実は先生方は、新型コロナウイルス感染症の第2波が来るかもしれないという危機感をいつも持っています。ですから、できることは今のうちにしっかりやっておくということを合い言葉のようにして取り組んでいます。

しかし、君たちの意識が低いなら、何をどう準備しても全く意味をなしません。いいですか、皆さん、短い夏休みを有意義に、意味のあるものにしてください。

最後に、

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、世の中ではたくさんの差別事象が起こっています。SNSを使って、感染した人を中傷したり、中にはどんな手段を使ったのかは分かりませんが、実名をさらしたりする事案もありました。

いつ誰が感染するかも入れないし、感染させるかもしれないのです。悪いのはウイルスであって、人ではありません。もし身近で感染が分かったとしても、小国中の君たちは、心配こそすれ、差別することのない人たちであって欲しいと思います。

いろんな方面からの呼びかけで、行動に制限があるかもしれませんが、まずは皆さんの危機意識を高く持って、安全な夏休みを過ごしてください。

これで終わります。